

夢追い人

木工の街・大川を サポーターとして盛り上げたい

有限会社 福山機工

社長 福山 貴志 さん

今月より第29期となり、新たな顔ぶれとなった大川商工会議所議員。そのなかで最年少議員となられた福山さんに、今回はお話を伺いました。

木工業を支える機械

福山さんが社長を務められる福山機工は、木工機械の販売・修理を手がけられている会社です。古き良き木工機械から国内外で製造された最新式の木工機械まで、多種多様な機械を取り扱っています。「自社で機械を作るというのは、あまりないです。特殊な機械を作って欲しいというオーダーがあれば作りますが、基本的にはメーカーが製造したものをユーザーへ販売し、メンテナンスを行う。車でいうところの、街のディーラーですね」

バブル期にドイツ・ヴァイニツヒ社の代理店ということに成長したとのこと。現在は国内メーカーはもとより、海外はドイツだけでなく、イタリア・台湾の機械も取り扱うようになったそうです。

「最新の機械は非常にユニークで、今までになかった発想のものがたくさんあります。こういった木工機械をたくさん紹介していきたいです」

三軸制御が主流の木工機械ですが、ここ最近注目されているのは五軸制御のものだそうです。「まだまだ高額ですが、ヨーロッパでは十年以上前からあった機械です。従来の制御マシンに旋回と傾斜の動きが加わり、フルオートで加工できるのです、加工の幅がぐんと広がりました」

外観

有限会社 福山機工





SCM CNC5軸制御マシン本体



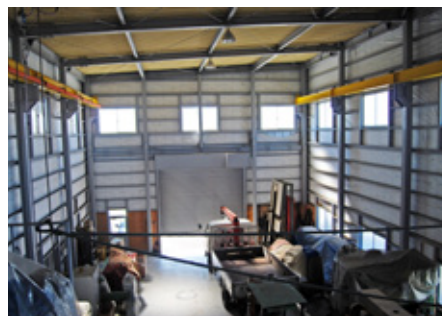
SCM CNC5軸制御マシン ヘッド部

性能が良いヨーロッパの機械ですが、一方では困ったこともあるそうです。「どういった機械も初めて取り扱う時は慎重になりますが、海外の機械のメンテナンスを行うにあたって、一番困ったのはソフト面の不具合ですね。今は日本語にも対応しているものもありますが、イタリア語やドイツ語などで書かれていると困りました。最近はずっと遠隔操作でメーカーのサービスマンがプログラム修正を行ったり、場合によっては本国イタリアやドイツからも修正を行うことができるようになりました」



SCM スライドソー

備投資を行うことで、予想以上の結果をもたらしてくれることもあるそうです。「最新の機械を導入することで、滞っていた工程がスムーズに流れるようになります。ひとつ製造するためにかかっていた時間で倍以上製造できるようになる。またそこに掛かりつきりだった人が他に回せるようになって、さらに効率がアップしていきます」お客様へのニーズに合う商品を提供するのはもちろんですが、可能な限り現場に足を運んで、そういった提案をしていくのも福山さんご自身の仕事だとお話されました。「木工所がたくさんある大川だからこそ、同じように木工機械を取り扱う事業所も多くあります。そのなかでも、地域一番を目指し、誠心誠意対応しています。製造メーカーに出せば修理してもらえますが、それだけコストと時間が



工場内の様子

かかってしまいます。身近ですぐに修理を頼める場所、お客様に頼りにされる仕事を心がけています」

様々な人との繋がり

福山さんは現在、日本商工会議所青年部（日本YEG）で理事を務められています。また大川商工会議所青年部には十七年在籍されており、これまでにも大川YEG会長や福岡県商工会議所青年部会長などを務められてきました。「県、それから全国と大川以外の場所へ出て行く機会がたくさんありました。そこで様々な業種の方と出会ったのですが、皆さん熱い人たちばかりで、とにかく刺激をもらいました。全国各地、様々な業種で頑張っている、繁盛しているという話を聞くと、こっちもやってやるぞ！と



◀研磨機

「九月は新潟の長岡へ、来年は秋田や北海道での開催が決定しています。全国各地へ行くことも楽しいのですが、全国に人脉が広がるのが最大のメリットですね」実際に青年部の繋がりで、仕事に繋がったことが何度もあるとのこと。「時間的な面など、なかなか難しいことだとわかってはいますが、ぜひとも大川YEGの会員も若いうちに経験して欲しいです。今年で青年部を卒業しますが、全国各地に出掛けると楽しいこともたくさんあるので、またやってみたいという気持ちもありますね」



エアコンプレッサー

「まずは会社の存続、従業員の生活の安定、それから大川の発展ですね。メンテナンスの技術が高いという自負はあるのですが、それを引き継ぐ若手の育成にまで手が回っていないのが現状です。これは大川全体に関わってやることですが、やはり技術者の高齢化が問題になっていきます。大川の基幹産業を絶やさないよう、職人の技術は受け継がれていかなければいけません。そのためにも今後の技術の継承は欠かせないですね。今後は若手技術者の育成にも力を入れていきたいと考えています。やっぱり大川が盛り上がっていかないと楽しくない。これからも大川の木工産業を盛り上げていきたいです」

伝統を受け継ぐために

では、様々な視点から大川を見つめている福山さんの夢はなんでしょうか。